

● 8つの玉について知りたい!

八犬士が持つ8つの玉。ここに書かれている文字には意味があり、玉を持つ八犬士の性格や特徴を示しています。

仁 じん …思いやり。優しいこと。

義 ぎ …正しいこと。正義。

礼 れい …決まりにしたがうこと。

智 ち …かしこいこと。

忠 ちゅう …真心。主君につくすこと。

信 しん …誠実。うそをつかない。

孝 こう …父母を大切にすること。

悌 てい …すなお。年長者にしたがう。

八犬士の名前のなかには、それぞれが持つ玉の文字がかけています。

この印刷物は館山市立北条小学校・館山小学校と館山市立博物館の連携による「小学生による八犬伝活用プロジェクト」の成果物です。

● だれが、いつ作ったの?

『南総里見八犬伝』

は今から200年くらい前に、江戸の作家曲亭馬琴が書いた歴史小説です。全部で106冊もあり、書き終わるまでに28年間もかかりました。戦国武将里見氏をモデルにしていますが、物語は馬琴の創作です。



● 館山との関係は?

八犬伝は、戦国時代に安房国（千葉県南部）を治めた里見氏をモデルにしています。物語の館山城は、里見氏の敵安西氏の城として登場しますが、実際には10代170年続いた里見氏が最後の居城としたのが館山城でした。

館山城跡は現在、城山公園として整備され、公園内には市立博物館本館と館山城（八犬伝博物館）があります。本館では、実在の里見氏の歴史、お城では八犬伝の世界を紹介しています。



もっと知りたい! 八犬伝



「南総里見八犬伝」あらすじ

室町時代、戦いに敗れて安房国白浜に落ちのびた里見義実(さとみ よしざね)は、滝田城(たきた)を居城(きよしろ)とします。ある年、領地(りょうち)が凶作(きようさく)となった義実(よしざね)は、館山城(あづまやま)の安西景連(あんざいかげつら)に助けを求めますが、景連(あやむら)はこのチャンスに城を攻め取ろうとしました。籠城(ろうじょう)を続ける義実(よしざね)が、飼犬(かひいぬ)の八房(やつふさ)に「景連(あやむら)の首(くび)を取ったら、娘(むすめ)の伏姫(ふせひめ)を嫁(よめ)にやる」と冗談(じやうだん)を言うと、八房(やつふさ)は本当に景連(あやむら)の首(くび)を取ってきました。伏姫(ふせひめ)は約束(やくそく)を守り、八房(やつふさ)とともに富山(とやま)の洞くつ(どうくつ)にこもりました。

1年後、義実(よしざね)は伏姫(ふせひめ)を助けるため、富山(とやま)に向かいます。同じ頃、義実(よしざね)の家来(けらい) 金碗大輔(かなまりだいすけ)も富山(とやま)に行き、鉄砲(てっぽう)で八房(やつふさ)をうち殺(ころ)しますが、流れ弾(なみだま)が伏姫(ふせひめ)にも当たってしまいました。このとき伏姫(ふせひめ)はお腹(はら)が大きくなっており、身(み)の潔白(けつぱく)を証明(しょうめい)するためにお腹(はら)を切(き)って死(し)んでしまいます。傷口(きずぐち)からは白い気(き)が立ち上(あ)り、伏姫(ふせひめ)が首(くび)にかけていた数珠(じゆず)のうち、文字(もじ)の浮かぶ(うかぶ)8つの玉(たま)が飛(と)んでいきました。

金碗大輔(かなまりだいすけ)は、出家(しゅっけ)して「大法師(ちゆうだいほうし)」と名(な)を改(あらた)め、8つの玉(たま)を探(たず)ねる旅(たび)に出(い)ます。玉(たま)は8人の若者(わかもの)が持(も)っており、彼(かれ)らは運命(うんめい)的に出(い)会(あ)っていきま(い)す。大法師(ちゆうだいほうし)から事情(じじよう)を聞(き)いた彼(かれ)らは、「八犬士(はっけんし)」として里見家(りみんけ)の元(もと)に集結(しゅうけつ)しま(い)す。このとき、伏姫(ふせひめ)が亡(な)くなってから25年(ねん)が経(た)っていました。

その後、八犬士(はっけんし)は里見家(りみんけ)と扇谷(おうぎがやつ)・山内(やまのうち)両家(りやうけ)との戦(いくさ)いで活(き)躍(やく)し、里見家(りみんけ)を勝(か)ち取(と)り、勝利(しょうり)へと導(みちび)きます。義実(よしざね)の子(こ)で当主(たしな)とな(な)っていた義成(よしなり)は、自(おの)分の8人の娘(むすめ)を八犬士(はっけんし)の妻(つま)とし、それぞ(それぞれ)れに城(しろ)を与(たま)えました。

八犬士に注目！

ふせひめ しんれい
伏姫の神霊に育てられた少年
いぬ え しん べ え まさし
犬江親兵衛仁



せい ぎ かん ちゆう ぎ もの
正義感あふれる忠義者
いぬ か わ そう す け よ し と う
犬川荘助義任



ま じ め で 物 知 り
いぬ む ら だ い か く ま さ の り
犬村大角礼儀



へん せ う
美しい変装名人
いぬ さ か け の た ね と も
犬坂毛野胤智



か じゆつ
火とんの術を使う
いぬ や ま どう せ つ た だ と も
犬山道節忠与



じゆつ て と も の
十手をあやつる捕り物名人
いぬ か い げ ん ば ち の ぶ み ち
犬飼現八信道



ほう とう む ら さ め ま る
宝刀村雨丸で戦う
いぬ づ か し の も り た か
犬塚信乃成孝



大きな体でケンカが強い
いぬ た こ ぶ ん こ や す よ り
犬田小文吾悌順



それぞれの八犬士がいろいろな得意ワザや能力をもっています

そのほかの登場人物

さと み よし ざ ね
里見義実

たきた じょうしゆ ふせひめ
滝田城主。伏姫の父。



やつ ぶ さ
八房

よし ざ ね
義実の飼犬。ためぎに育てられた。



ふ せ ひ め
伏姫

やつ ぶ さ と や ま
飼犬の八房と富山にこもり、
八犬士誕生のきっかけをつくる。



かな ま り だ い す け
金碗大輔

け ら い ふ せ ひ め し ゅ っ け
義実の家来。伏姫の死後は出家し
て、大法師と名乗る。

